



GN地域における外資系企業の活動事例



進出後の成果

売上高、従業員数ともに飛躍的に拡大・成長を実現

企業概要

- ・日本法人：FPTジャパンホールディングス株式会社（東京都港区）
- ・親会社：FPTソフトウェア（ベトナム）
- ・進出時期：2013年（愛知県名古屋市）※2005年、東京都内に日本法人設立
- ・拠点形態：営業拠点（名古屋事業所）



車載組み込みソフトウェアのイメージ



企業ロゴ

事業概要

親会社であるFPTソフトウェアは、世界30か国にグローバル展開し、従業員数3万人、売上高10億USドルを超えるベトナム最大級のITリーディングカンパニー。グループ内企業では半導体、自動車関連や、これら分野の人材を育成するための教育事業を営んでおり、グループ間でのシナジーを発揮した事業展開に強みを有している。FPTソフトウェアの100%子会社である日本法人においては、ベトナムの有名大学やFPT大学でIT/半導体設計/自動車SDV開発スキルと日本語を学んだベトナム人のみならず、22カ国から従業員を採用し、日本での活躍の場を創出。ベトナムの拠点を活用したオフショア開発のほか、札幌、福岡、沖縄等日本国内でのニアショア開発にも注力。自動車産業向けの組み込みソフトウェア開発も得意分野。

進出背景

- ・2005年に日本法人を東京都内に設立。創業者が日本の「ものづくりの心」に共感し、米国に次ぐ2拠点目の海外進出であり、日本法人設立後、2007年に大阪営業所、2013年に名古屋営業所を開設。以降、国内各地で営業所を設置。顧客に寄り添うことを経営方針としており、顧客の所在地域には積極的に営業所を設置している。
- ・日本進出当初、名古屋地域に取引先はなかったものの、自動車産業集積の高い当地域にFPTグループの強みが活かせると判断し、名古屋市内に営業所開設に至った。

地域経済への貢献

- ・名古屋営業所設置後約10年で、中小企業のみならず大企業とのビジネスも増加してきており、従業員数は5名から170名に、売上高は50億円以上までに成長した。
- ・基幹系システムの老朽化に伴う「2025年の崖」への対応が社会的な問題として挙げられている中、同社ではCOBOLなどのプログラミング言語やSAP基幹システムへの対応などのITスキルを有する人材を多く抱えており、地域の中小企業のDX化に向けた課題解決への貢献が期待される。
- ・ベトナムでのオフショア開発、日本国内でのニアショア開発の利点を融合し、価格競争力・スピード・体制構築の柔軟性等を強みとして、地域企業におけるDX化の導入コスト低減に寄与することで地域中小企業のみならず、大企業のDXを通じた働き方改革を促進。